

No	分野	回答内容
1	アンケート	アンケートの設問で“育児”、“子育て”という言葉を使いつつ、その定義を明確にされておらず、全ての答えがあやふやになってしまう。 もう少し答える側の立場に立った設問の精査が必要と感じた。
2	子育て支援	育児休暇をもらえず、収入が全くない母親に何かしらの支援をしてほしい。
3	子育て支援	子育て支援は大変ありがたい。 母子家庭や父子家庭の方にももう少し援助していただけたらとても助かる。
4	子育て支援	村の子供に対するサポートが手厚く、助かっている。
5	保育環境	幼稚園の預かり時間、児童クラブの預かり時間が18時までのため、特に冬期間は職場が遠方の者にとっては時間までにお迎えにいくのが困難な時もある。
6	保育環境	子供が児童クラブに限らず、放課後、自由に勉強できたり遊べたりする、大人が管理している施設(徒歩圏内)があったらいいと思う。
7	保育環境	児童クラブを18:30又は19:00まで利用できるようにしてほしい。
8	保育環境	児童クラブの先生に預ける際、1人だけの時や土曜日利用したい時お願いしてるにもかかわらず、利用を確認される。 その先生が当番の時だけ聞かれるので、利用してほしいのだと思ってしまう。改善を求めたが、対応が変わらない。
9	保育環境	設問にあった放課後子ども教室があれば、子どもの経験の幅が広がってよいように思う。
10	保育環境	設問にあった放課後子ども教室などあれば、参加させたい。
11	保育環境	病児保育ができる施設があればとても助かる。 急性期の症状がある時はもちろん家庭でみるが、症状が落ち着いても出席停止の疾患であると、親もずっと休まなくてはならず、負担も大きい。
12	保育環境	子育て環境を良くしなければ村民は増えない。 会議で決まっても、結局実施に至らないことが多く(ファミサポ、こども園など)、実施できるような具体的な話し合いが大切(予算も考えて)。
13	保健体制	冬期間において、保健センターに幼児健診などで行くのがこわい。大塩、北山で健診できるようにしてほしい。
14	医療体制	小児科医が近くにいないので不安。
15	親同士の交流の場	親同士が集まったり、サークル活動をしたりする場所が少ない(特に土・日に集まる場所)。
16	遊び場	子ども達が集まって遊べる整備された公園などが少ない。
17	遊び場	子供たちが集まって遊べるような施設や広場があればいいのと思う。
18	遊び場	公園(遊べる広場)が少なく、遊ばせる場所に困る。

No	分野	回答内容
19	遊び場	子どもたちが気軽に遊びに行けるような遊具のある公園が欲しい。
20	遊び場	子どもたちのあそぶ場所(公園など)を増やしてほしい。
21	遊び場	公園など遊べる場所の整備をお願いしたい。
22	遊び場	公園などが無く、遊び場がない。友達もつばら村の子達だけになり、友達の輪が広がられない。
23	遊び場	神社や公園などの子供遊具がある場所や球場など、児童や生徒が利用する場所はいつでも安全に利用できるよう、草刈など管理整備を行ってほしい。
24	教育環境 (幼稚園)	幼稚園の遊具が充実すれば良いと思う。
25	教育環境	学校でも子供たちが伸び伸びと生活できていることに感謝している。
26	教育環境	高校進学に対する不安が少しある。
27	教育環境	少子化に伴い、学校行事、部活動の困難や伝統行事など、成立しにくくなることが考えられる。
28	教育環境	小学校の人数が少ないからこそ、特に学習面は手厚く丁寧に指導していただけていると思っているが、今後、中学校への進学まで考えたときに、このまま周囲の人的環境の変化の無さや部活動選択肢の少なさが子どもの可能性の幅を狭めてしまうのではないかと思うこともあり、正直、村内への中学校進学を迷うときがある。
29	教育環境	給食費の全額負担、子どもたちの旅費(6年生沖縄)の負担はありがたい。
30	教育環境	11月にプールの授業(室内とはいえぬれた頭ですごくすのが夏とはわけがちがう)は風邪をひくおそれがあり、好ましくない。7～8月、遅くとも9月までにしてほしい。 夏の学校のプール利用をもっとふやしてほしい(夏休みの利用日)。
31	教育環境	少人数のクラスだと、いろいろな体験(人間関係・交際範囲が狭い)が出来ていないようで心配(体育など下の学年と一緒にないとスポーツも出来ないなど)。高校などで人間関係で悩みそうで心配。
32	保育・教育環境	現金支給以外の子育て支援や『教育の村』になるような政策を打ち出してほしい。そうすれば、村へ移住する方も増え、子どもが多くなれば、村に活気が出ると思う。現金支給は正直意味がないと思う。
33	保育・教育環境	小学校の先生から子どものことで指摘はないが、児童クラブの指導員の方からは子どものことをよく指摘される。 学校の先生と指導員の方の情報交換の場などがあるのかは不明だが、指導員の方が気になる子がいれば学校の先生からアドバイス等あれば良いと思う。
34	保育・教育環境	裏磐梯のスクールバスの充実や、にこにこ子育て祝金、給食費の無償化等、村の子育ての支援が次々と充実しているのを感じています。 本当に助かっています。

No	分野	回答内容
35	通学支援	喜多方市や会津若松市の高校へ公共交通機関で通学できるようにしてほしい。特に会津若松市内への通学は不便である。
36	通学支援	スクールバスは、どの地区でも平等に通学出来る様に手配してほしい。帰り(下校)に合わせて頂けると助かる(蛇平地区)。
37	習い事・体験活動	習い事に行くにも資源が限られているため、村内で様々な体験ができたらと思う。
38	習い事・体験活動	村にあるスポーツクラブ以外のスポーツに触れられる様な出前出張教室みたいなものを土・日などで主催して行って欲しい。プログラミングや科学の実験など勉強して学べるものもあるといいかと思う。いろいろなものを体験出来て、自分の好きなことが見つかるきっかけになればいいと思う。
39	体験活動	子供時代の運動する“機会”と“環境”が大切だったと感じている。仕事をしながらでももっと日常的に運動やストレッチをすれば良かったと思う。マット運動やストレッチ、木登り、逆上がり、側転、ボール遊びを幼稚園と家庭で行う機会をつくれば、駅伝等で活躍する子供が増えると思う。
40	体験活動	体育館の「土日解放デー」があれば良いと思う。
41	生涯学習	公民館の図書室が平日しか開放されていないため、利用できない事が多い。
42	地域住民	地域の皆さんが子ども達に対して寛容な事がよい事だと感じている。
43	生活環境	小さい子どもを連れて買い物なども、近くにお店がないと大変だと感じている。
44	生活環境	住環境も良いとは言えず、移住を増やすためにできることはたくさんあると思う。
45	生活環境	子供が成長すると、村外の学校へ行く事になるので、引っ越しも本気で考えなくてはいけない。 仕事も村外なので、この村にいるメリットがない。